

令和4年度 東京都立府中東高等学校経営報告

1 経営目標と取組内容

(1) 今年度の教育目標と方策

学習指導の充実、生活指導・教育相談の充実、進路指導の充実、特別活動・部活動の充実、関係諸機関との連携・広報活動の充実という目標達成にむけて、学習到達度や進路結果、部活動の成果などに対して高い目標を掲げ、教職員が一丸となって生徒主体の教育活動を展開する。

(2) 各項目の取組内容等

① 学習指導の充実

- ・年間指導計画に基づく授業を計画的に行った。
- ・生徒による授業評価結果及び学校評価結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ。
- ・年間5回のスタディサポートと外部模試の分析会、通年の教科会の実施をとおして、学習指導の成果検証及び学力向上策の具体化を行い、指導方法の改善にいかした。
- ・年間3回以上の教員相互の授業参観や、年間2回の学校運営連絡協議会の協議員による授業見学会を実施することによる授業力向上の推進を図った。
- ・管理職による授業観察をとおした分析とアドバイスによる授業改善を進めた。
- ・ICT機器を活用した授業実践を推進し、実施率が84%（昨年度69%）に向上した。
- ・教員のデジタル技術の活用力を高め、座学を担当する教員の55%の授業で、一人1台端末を活用する学習を展開した。
- ・教科代表者会議を定例化し、端末活用実例の収集と情報の共有化を図り、端末活用の研修会を開催した。
- ・長期休業中の講習や補習を49講座実施し、自習室・学習室や教室を平日は18時すぎまで、土・日曜日も1日開室し、校内の自習環境を整えた。
- ・1・2年生漢字検定全員受験実施。進路指導部と英語科が中心となり英語検定の各級の合格を目指した学習指導を推進した。

② 生活指導・教育相談の充実

- ・校内でのあいさつの励行に取り組んだ。
- ・生活指導部が中心となり朝の立ち番による登校指導や身だしなみ指導を行った。また、始業式・終業式や定期考査時において身だしなみ指導を行った。
- ・セーフティ教室において、SNS等の利用方法や情報リテラシー教育の充実を図った。
- ・スクールカウンセラーによる新入生全員面接に加え年間180回の教育相談を行うとともに、教育相談推進委員会を年間25回（昨年度33回）開催し、いじめや不登校等の未然防止及び心の悩み相談に組織的・計画的に取り組むなど、相談機能の充実に努めた。
- ・特別支援教育の視点に立って、特別の支援が必要な生徒には、HR担任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター、スクールカウンセラー等による情報共有を重ね、通級指導2名、コミュニケーション・アシスト2名の指導を実施している。
- ・スクールカウンセラーによる教職員対象の「発達障害の理解」「不登校生徒の予防的対応」「迷った時に頼りになるエゴグラムの活用」についてという校内研修を3回実施した。
- ・「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめアンケートを年間3回実施し、いじめの早期発見及び未然防止に組織的・計画的に取り組んだ。
- ・学校安全計画の全体計画に基づき、消防署、府中市役所、自衛隊、地域住民と連携した防災訓練等、年間4回の避難訓練を実施した。
- ・教職員を対象とした校内研修を年間3回実施し、人権尊重の精神及びコンプライアンスの徹底と

体罰・暴言等の防止を図った。

- ・都立府中けやきの森学園高等部と本校生徒会執行部との交流会を行い、相手を理解し思いやる気持ちの育成に取り組んだ。

③ 進路指導の充実

- ・進路指導計画に基づき、進路指導部、学年、教科が協働し、進路指導に計画的に取り組んだ。
- ・職業人へのインタビューワークショップや探究学習等の実施をとおして、将来の在り方や生き方を考えさせるなど、キャリア教育の充実に努めた。
- ・各種進路ガイダンスをとおして進路意識の啓発を図った。
- ・年間5回のスタディサポートと外部模試の分析会をとおして生徒の学力等の傾向の把握に努め、進路支援にいかした。
- ・面接週間における二者面談、総合型選抜や学校推薦型選抜に出願する生徒への面接指導をとおして進路希望実現を支援した。
- ・教員対象の専門学校研修会や志望理由書の指導法研修会等を開催し、進路指導に役立てる取組を行った。
- ・高大連携事業は、杏林大学・桜美林大学・東京経済大学と継続して実施した。今年度は、文化部新設置推進校としての取組と高大連携を兼ねて、桜美林大学入学部高大連携コーディネーターによる「探究」をとおして表現力や発表力を身につける講演会を実施した。

④ 特別活動・部活動の充実

- ・学校行事については、3年ぶりに全学年による体育祭と、外部の方を迎え入れての緑陵祭を実施した。教職員も生徒も次年度以降につながる経験ができた。
- ・部活動加入率は61%（昨年度59%）であった。
- ・**Sport・Science Promotion Club** 指定校に指定されているボクシング部は、関東大会出場、全国大会出場を果たした。特に女子は、全日本女子ジュニアボクシング選手権で優勝した。
- ・理数研究校として指定を受けた「生物部」が、全国ユース環境活動発表大会関東地方大会に出場した。また、生物部の活動の様子を紹介するために、研究資料の校内展示を常時行った。
- ・今年度も文化部新設置推進校の指定を受け、桜美林大学入学部高大連携コーディネーターによる「探究」の講演会開催や、英語書籍の多読を推進するなど、生徒の創造力と表現力の一層の伸長を支援した。
- ・表現力やプレゼンテーション能力の向上を図る目的で、校内ビブリオバトルを開催し、代表生徒を都大会に出場させる取組を行った。

⑤ 関係諸機関との連携・広報活動の充実

- ・防災訓練を実施するにあたり、地域住民や消防署、府中市役所、自衛隊との連携を図った。
- ・1年生延べ318人による夏休み前母校訪問を、87校の中学校に対して行った。
- ・夏季休業中4日間の学校見学会と10月以降3日間の学校説明会を実施し、延べ3,191人の参加者があった。
- ・本校教員による中学校への出前授業と中学校からの上級学校訪問を、世田谷区立烏山中学校をはじめ計3校実施した。
- ・ホームページを年間387回更新し、本校の教育活動の様子を、中学生をはじめ広く都民に発信した。

2 数値目標と結果

(1) 組織的に進路指導を推進し、希望進路の実現を図る。

○大学入学共通テスト出願者	100名以上	124名	(昨年度	96名)
○難関私立大学又は国公立大学合格者	1名以上	0名	(昨年度	1名)
○GMARCH合格者	5名以上	12名	(昨年度	3名)
○日東駒専合格者	30名以上	27名	(昨年度	11名)
○大東亜帝国合格者	50名以上	53名	(昨年度	45名)
○4年制大学への進学率	60%以上	58%	(昨年度	53%)
○進路未決定率	8%未満(進学準備を含む)	10%	(昨年度	10%)
○就職希望者決定率	100%	100%	(昨年度	100%)

(2) 学習指導の充実を図る。

○補習及び講習	毎週実施	年間を通して実施
○長期休業中の補習・講習	60講座以上	49講座(昨年度50講座)
○図書館利用者数	昨年比10%増以上	年間利用者数 2,130名(昨年度1,000名)
		貸出冊数 2,353冊(昨年度1,600冊)

(3) 基本的生活習慣の定着を図るとともに、規範意識を育む。

○遅刻	年間延べ人数4,500以下	9,377回(昨年度4,933回)
○特別指導件数	5件以下	8件(昨年度12件)
○いじめ、体罰	0件	0件(昨年度1件)

(4) 部活動充実校を標榜する学校として部活動・特別活動等の充実を図り、学校生活に意欲をもたせる。

目標設定と今年度の成果(部活動充実校7年目)	◎…目標達成
○硬式野球部	西東京大会ベスト16 ◎春季東京都高等学校野球大会一次予選突破本大会出場 夏季大会4回戦
○サッカー部	都大会ベスト8以上 T3リーグ昇格 全国高校総体東京都1次予選2回戦進出
○女子バスケットボール部	都大会ベスト16以上・関東大会出場 総体予選・関東予選3回戦
○女子バレーボール部	都大会ベスト8以上・関東大会出場 東京都大会ベスト32
○ボクシング部(Sport-Science Promotion Club 指定校)	関東大会出場・関東選抜大会出場 ◎関東大会・全国大会出場 全日本女子ジュニアボクシング選手権優勝
○陸上競技部	都大会出場 ◎東京都高等学校新人陸上競技対校選手権大会出場 円盤投げ
○生物部(理数研究校)	科学の祭典・全国ユース環境活動発表大会・水産学会等で研究発表 ◎Tokyoサイエンスフェアポスター発表 全国ユース環境活動発表大会関東地方大会出場
○吹奏楽部	吹奏楽コンクール金賞 アンサンブルコンテスト銀賞 吹奏楽コンクール 銅賞 ◎アンサンブルコンテスト銀賞
○部活動加入率	70%以上 60.6%(昨年度58.8%)

(5) 本校の教育を広く紹介し、「志」の高い生徒の募集を推進する。

○推薦入試	4.0倍以上	2.97倍(昨年度4.19倍)
○入学者選抜倍率(前期入試)	を1.5倍以上	1.45倍(昨年度1.48倍)
○HP年間アクセス	60万回以上	54万回(昨年度50万回)
○学校説明会等の来場者数	3,500名以上	3,191人(昨年度3,407名)

(6) 組織的な学校運営を推進し、生徒や保護者・地域から満足のいく学校をつくる。

- ・ 生徒学校満足度 85%以上 90% (昨年度80.4%)
- ・ 保護者の学校満足度 85%以上 87% (昨年度83.4%)

3 次年度以降の課題と改善策

○教育目標やスクール・ミッション、スクール・ポリシー、グランドデザインに基づき教育活動を推進している。次年度以降も、教育課程、教科・進路指導を工夫し取り組んでいく。

○外部模試を活用した生徒の学力分析を行い、学力の到達目標設定を明確にして共有することで、引き続き学習指導をより効果的な取組に高めていく必要がある。

○学校での補講・補習のみならず、家庭学習時間の確保に工夫・改善を図る。

○組織的で一貫性のある生活指導をより推進していく。特に、学年進行につれて遅刻数の増加やスカート丈・装飾品等に課題がある生徒が散見される現状について、生活指導部と学年とが協力をし、生徒にルールやマナーの励行を徹底させる。

○HR活動や部活動、学校行事など、様々な機会を捉えて、学校やHRにおける豊かな人間関係構築の取組をより推進する。

○いじめや自死の抑止に向け、生徒がSOSを発信しやすい学校づくりや「府中東高校 SNS ルール」の周知徹底の取組を強化する。

○通級指導の校内体制の見直しを図る。また特別支援教育に関して、教育相談推進委員会を中心として、学年・特別支援教育コーディネーター・スクールカウンセラー等が連携をとり、すべての教職員が情報の共有を図ることができる校内体制を確立する。

○3年間を見通したキャリア教育の全体計画を再度見直し、生徒の実態に即して適宜修正を加えるとともに、進路指導部主導の進路活動や進路行事を組織的に行う。

○大学出張講義や大学別説明会等の計画的な実施を目指すとともに、探究活動の取組をとおしてキャリア教育を充実させ、学びへの探究心をより高めていく。

○保護者へ向けた進路情報の発信について工夫・改善を図り、保護者への進路に関する啓発活動や保護者との連携した指導を充実させる。

○部活動運営の適性化に向け部活動指導員等外部指導員を活用し、競技力の向上を図るとともに、部活動顧問の業務改善を図る。

○本校への志望者数を増やすためホームページの充実をはじめとする募集対策活動に力を入れ、入学者選抜における応募倍率の向上を図る。

○学校評価アンケートにおける生徒の肯定的評価は、学習指導で84%、進路指導で89%、生活指導で66%、学校満足度は90%であった。生徒や保護者のニーズや期待を真摯に受け止めるとともに、府中東高校の更なる魅力を創出するような教育活動を引き続き推進していく。

○教職員に対して必要に応じ産業医による面接を実施し、また、計画的な年休取得を推進することにより、在校時間の削減に努め、教職員の心身の健康の保持・増進を図る。